

## ●あとかぎ

法学部一年次配当の専門科目「憲法」を担当し、どのような導入教育を行えば、初々しい一年生たちが初めに抱いた希望を色褪せさせることなく、法学に興味をもち続け、おもしろく感じてくれるかを長年模索してきました。この本は、そのような観点から、講義の途中に学生たちに語ってきたことをまとめたものです。法学部の一年生に学習の方向を示す「コンパス」の役割を果たしてくれることを願っています。

本書は、好評をいただいた前書『法学部新入生のための学ナビ』（二〇〇六年）をベースにして、他の類書にない「最強ノート術—先生のタイプ別指南」を新たに書き下ろすなど、あちこちに大幅な加筆・修正をしたものです。前書から一〇年という時代の推移を考慮に入れて、今現在の新入生のニーズに的確に応えるさまざまな役立ちノウハウを伝授することに努めました。

後は、アドバイスに従って君が実行するだけだ。とにかく、四月中に予習と復習が「毎日のルーティーン」になるようにクセをつけよう（41頁参照）。毎日のちよつとした頑張

りだよ。君ならできるよ。

さらに勉強の仕方について興味をもった人に、お薦めの本が二冊あります。

●田高寛貴・原田昌和・秋山靖浩『リーガル・リサーチ&リポート』有斐閣：法学部での勉強法について教えてくれる。

●弥永真生『法律学学習マニュアル』有斐閣：しっかり勉強しようという意欲のある上級生や大学院生向け。これが必要になったら、君は本物だ。

この本の内容や記述についてお気づきやご意見がありましたら、ぜひお教えください。少しでもわかりやすく、役に立つものにするために努力したいと考えています。

執筆に際しいろいろとご指摘をいただいた法律文化社の田摩純子さん、およびイラストを描いてくれた福岡大学法学部OG山本亜由子さんに御礼を申し上げます。

二〇一五年一二月二日

武居一正